

准組合員モニターの皆様から事前にいただいたJAへのご意見・ご要望

グリーンセンター（愛菜耕房・菜々耕房）について

Q1 産直のLINEクーポン、販促方法について

・LINEでチラシやクーポンが使えるのでとても利用しやすくなりました。ただ残念なのが、午後から以外でも使えるクーポンがあるといいと思います。

(岩間 由起子)

・スーパーのように毎週〇曜日はポイント2倍デーなど、キャンペーンを打ち出せたら良い。ラインのクーポンは1000円以上買って200円割引でとてもいいと思います。たまに10%引きやポイント倍デーなどとクーポンの内容を月ごとに変えてもいいのでは。

(林 佳世子)

回答（園芸部）

クーポンやポイントのサービスについては、それぞれのお店の戦略があると考えます。私どもグリーンセンターのラインクーポンは、午後からのお客様対策として考えていますのでご理解ください。

また、グリーンセンターは毎週火曜日ポイント2倍デーや、お米のお買い上げ毎日200円に対して10pt付与、火曜日にはポイント2倍の200円に対して20ポイントになりますのでご利用ください

さらに、信用事業の定期貯金キャンペーン時には、ご利用者の方に農業応援チケット、年金受給者の方には、地域農業応援クーポンや、年齢の節目（例えば喜寿）に地域農業応援寿クーポンなどもご提供いたしておりますので、グリーンセンターだけでなくJA各事業をご利用いただけますと幸いです。

Q2 産直店舗の内外装・デザインについて

・グリーンセンターをおしゃれな店にしてほしい。

(伊藤 秀子)

・もう少しおしゃれな感じにすると更に良いかと思えます。

(木村 葉)

回答（園芸部）

店舗も定期的な改装（リフレッシュ）が必要と認識しております。苗や鉢花売場については行事ごとの際にはお洒落な陳列や演出に心がけています。野菜・切り花などの産直コーナーも今後リフレッシュが必要と考えております。貴重なご意見ありがとうございます。

Q 3 産直品の価格等について

・安くて安全な商品の提供や、新鮮でお値打ちな商品・野菜苗の情報が知りたいです。

(伊藤 秀子)

・安くて良い品物がたくさん増えるとありがたい。

(下川 道代)

・産直は新鮮ですが、もう少し価格が安いとありがたいです。

(水野 浩子)

・もう少し安いと良い。

(堀田 清雄)

回答（園芸部）

グリーンセンターの店舗は販売者側としてお客様からご意見をよく受け賜りますが、JAとしては生産者に寄り添う立場でもあります。生産者側から申し上げますと、苗や肥料など生産資材は食品の値上げ同様、高騰しており、皆さんの家計同様、農家収入は大打撃を受けております。しかし、昔から農産物は需給バランスで価格が形成され、なかなか生産資材価格の値上げが販売価格に反映されない産業です。

JAグループは、そうした現状をご理解頂けるよう、市場やスーパー、消費者の方にご理解いただきたくよう働きかけています。

安全・安心、より良い品をお値打ちに！をモットーに、皆様にご満足いただけるお品を提供できるよう取り組んでまいります。農業者の方のご苦勞もご理解ください。

Q 4 産直の販売方法について

カット野菜の販売などをしてみては？

(磯島 孝久)

回答（園芸部）

スーパーやコンビニで販売しているキャベツの千切りやレタス等の商品でしたら、現在取扱いはしておりませんので貴重なご意見として賜ります。なお、白菜の1/4カット等の商品は現在も販売しております。

Q 5 産直のサービス内容について

JAの直売所で宅配の取り扱いができるといいと思います。

(横井 重樹)

回答（園芸部）

津島店・十四山店とも宅配の取次は行っておりますので、ご利用の際は店員にご用命下さい。

Q 6 産直の陳列方法について

午後に行くと商品があっちこっちに移動していて値段が違うことがあるので、改善していただきたい。

(近藤 美子)

回答 (園芸部)

産直ですので、生産者によってお値段が違います。店舗スタッフもアイテムごとにお買い回りしやすい売り場整理に心がけており、整理不足はお詫びを申し上げますが、価格についてはご理解ください。

Q 7 産直の会計・レジについて

- ・直売所のレジが年末は大変なので、増やすことはできないか。

(近藤 美子)

- ・シーズン時の会計レジの混雑改善ができないか。

(朝見 彰博)

- ・セルフレジの導入をしてほしい。

(磯島 孝久)

- ・午前中はお客さんが殺到するのでクーポンやセルフレジなどを改善した方が良いと思います。

(岩間 由起子)

回答 (園芸部)

皆さんもご存じの通り、産直ですので、例えばレンコン一つとっても、多くの生産者の方が出荷していますので、レジでは1つ1つバーコードをスキャンして精算する必要があります。大変ご迷惑をおかけしておりますが、レジ係も懸命に頑張っておりますのでご理解を賜りたいと思います。また、混雑時は設置してあるすべてのレジは稼働させますが、増設は検討しておりません。

また、十四山店は、セルフレジを導入しましたが、津島店については2~3年後にレジの入れ替えの予定でセルフレジ導入の予定です。その間ご不便をおかけいたします。

Q 8 産直の品揃え (特に午後) について

- ・良い品を求めて午前中に殺到するので、ついつい行くのを諦めてしまう。分散出来たらと思います。

(村尾 猶子)

- ・時間がお昼過ぎてしまったら野菜の量が少ない。

(佐藤 幸枝)

- ・午後買い物に来ると野菜がほぼない時があるので補充してもらえるとありがたいです。

(中濱 久美)

- ・午後からの利用者としては、午後の品揃えも充実してほしいです。JA (津島・十四山) に行くのがどうしても休日の午後しかいけません。平日は仕事のため。午後に行くと産直野菜がほとんどないので、もう少し商品を増やしてほしい。

(太田 美代)

・津島の特産である人参・レンコンを菜々耕房にも置いてほしい。果物も増やしてほしい。

(水野 浩子)

・夏場はお花が少な目なので平均して店頭に出してほしい。

(佐藤 幸枝)

回答 (園芸部)

午後からのお品不足についてはご迷惑をおかけしております。店側も重々承知しておりますが、産直会員さんが少なくなった場合、産直会員さんへ午後からの出荷要請はしておりますが、産直会員さんも売れ残りを心配され、十分な品数や品揃えになっておりません。市場などから仕入れをして補ってはおりますが、皆様にご要望されるのはやはり産直品ですので、今後も産直会員への協力を働きかけ、品揃えできるよう努めます。

Q 9 産直出荷者の情報について

生産者の名前だけでなく顔写真をグリーンセンターに貼るか、冊子などにして顔が分かるようにしてほしい。

(林 佳世子)

回答 (園芸部)

貴重なご意見として賜ります。売場のお品の前に顔写真をお示しするのがベストですが、商品の販売場所を移動した際に、違う生産者の顔写真があったり、完売してしまった場合に、いつまでも顔写真が貼ってあってもおかしいものですから、紹介方法を検討します。

Q 10 産直のお弁当について

直売所の弁当について、J Aだと弁当のお米が美味しいと思い値段も安いので、職場の方が買うのだが、なぜかJ Aなのにお米が不味いと言っているのを改善してほしい。

(下川 道代)

回答 (園芸部)

お弁当についても、産直会員の出荷ですのでご意見があったことをお伝えします。

Q 11 産直在庫の確認について

畑 (家庭菜園) 用の苗の在庫が確認できる仕組みはありますか？電話で菜々耕房に尋ねる以外にネットなどで確認できると良い。

(朝見 彰博)

回答 (園芸部)

現在は、お電話でのお問い合わせしかございません。

今のところ、ネットで在庫が確認できるシステム等も導入予定はありませんので、ご了承ください。

Q 1 2 野菜価格の高騰について

野菜が高くて困っています。JAさんから何か一般の人へ良いアイデアを教えてください。

(朝見 彰博)

回答 (園芸部)

Q 3 の回答と同様です。

農産・園芸事業について

Q 1 3 カントリーの籾殻について

脱穀後の籾殻はどうなりますか？

(横井 重樹)

回答 (農産部)

- ①農家さんで必要とされる方が、カントリーエレベーターまで引き取りにお見えになり、畑作での使用や、れんこん田にすき込んでいます。
- ②管内の畜産農家さんが、引き取られ堆肥作りに利用されています
- ③堆肥製造事業者も引き取られ、ご利用されています。

Q 1 4 有機栽培の取り組みについて

難しい事とは思いますが、なるべく無農薬の野菜やお米を作っていただきたいと思います。

(村尾 猶子)

回答 (農産部)

無農薬で安全・安心をお届けが理想です。個人の農家の方が無農薬栽培に取り組まれています。どうしても虫食いであったり病気であったり等、見た目が良くない場合も当然あります。虫食いがあると敬遠される購入者の方がほとんどですので、JA等に出荷される農産物については適宜に防除することを指導しています。

Q 1 5 稲刈り体験について

弥富鍋田の早期稲刈りも見学したり体験してみたい。

(林 佳世子)

回答 (農産部)

鍋田地区の早期の稲刈りは、近年の猛暑の影響もあり8月初旬・中旬よりスタートしています。猛暑のなか熱中症の心配もありますので、稲刈り体験については控えさせていただきます。

Q 1 6 おいしいお米の炊き方について

炊飯器を買い替えたいと思います。同じお米でも炊飯器により味は違いますか？美味しいお米の炊き方を教えていただけると幸いです。

(服部 豊美)

回答（農産部）

グリーンセンターのお米売場でご案内、イベント等開催時にご案内など、美味しいご飯の炊き方等説明できるように、従業員教育を徹底します。

Q 1 7 就農塾・園芸教室・食農教育イベントについて

- ・野菜の作り方講座を定期的に行ってほしいです。
(木村 葉)
- ・子どもと収穫体験をした時、思い出に残ったようなので体験できるイベントを多く開催してもらいたい。
(安江 隆)

回答（園芸部）

J Aの方針として、収穫体験イベントだけでは農業の大変さが伝わらないとの考えのもと、収穫体験だけのイベントは何かのプレゼント企画以外見送っています。

また、食農教育の一環として播種から管理、収穫と一連の体験をしていただく親子での農業講座を以前は実施していましたが、諸事情により開催をいたしておりません。

Q 1 8 食品ロス削減・子ども食堂等に関する取り組みについて

- 食品ロス（野菜の廃棄ロス）の削減を含めたフードバンク・子ども食堂への提供などをしてみては？
(磯島 孝久)

回答（農産部・園芸部）

現在、一部の子ども食堂にお米を寄付しております。食品ロスの問題は社会問題にもなっておりますので貴重なご意見として賜ります。

J Aの情報発信（広報・SNS）や協同活動について

Q 1 9 各種の企画について

- ・イチゴ狩りを企画してほしい。
(伊藤 秀子)
- ・いろいろなイベントをもっと幅広く展開してほしい。（料理教室や介護の話・家庭菜園など）
(佐藤 幸枝)
- ・季節ごとのイベントをしてほしいです。お正月飾りのアレンジフラワー、お料理教室など
(木村 葉)
- ・生産者と准組合員の交流企画があると良い。
(朝見 彰博)

回答（企画部）

J Aには地域に暮らす方々がJ Aの支店などに集まって活動を行う女性部という組織

があります。生け花教室やヨガ教室、アレンジフラワーをはじめ、様々な教室を開催しています。また、海南病院と連携した健康料理教室も開催しており、募集は主に広報誌「あまの風」の折り込みチラシで行っております。女性部の詳細につきましては、お配りしております「女性部だより」をご覧ください。また、介護事業につきましては、当JAの介護課で様々な事業を行っております。こちらもお配りしておりますチラシをご覧ください。

Q20 資産管理に関する相談について

田・畑・建物（不動産）関係の固定資産全般の情報について知りたい。
（横井 重樹）

回答（生活部）

不動産に関する相談は売買・賃貸・登記・税務（固定資産税・相続税）など多岐にわたりますが、その相談内容・所在地などの条件により個別による対応が必要であり、当組合の相談窓口は生活部資産管理課となります。必要に応じ顧問弁護士・税理士・司法書士と連携し組合員の皆様からのご相談に対応しております。

また相続に関する知識向上を目的とした「JAあいち海部資産管理部会」への加入も随時受け付けております。

Q21 援農ボランティアについて

レンコン農家も作業が大変だと思うので、援農ボランティアがあったら参加してみたい。
（林 佳世子）

回答（企画部）

援農ボランティアにご興味をお持ちいただきありがとうございます。現在はイチゴと花ハスを対象品目として募集を行っています。レンコンにつきましては、収穫作業に熟練の技術が必要であり、鍬で掘り起こす際にレンコンの肌を傷つけてしまうと商品価値が無くなり、出荷不能となってしまいます。これは、援農ボランティアの目的である農家支援に反することとなることから、現在募集は検討しておりません。

他の品目につきましては、農家さんからのニーズに基づいて企画をしてみたいと考えております。

Q22 JAからの各種の情報発信について

・ボランティア、体験コーナー、野菜作りの楽しさについて情報があれば良いと思いました。

（岩間 由起子）

・健康教室、カルチャー、今話題になっていることなどを知りたい。

（佐藤 幸枝）

・現地にお邪魔しないと今どんなイベント募集を行っているか分からない。

(佐藤 幸枝)

- ・季節ごとのJAの活用術、素敵なお花の情報、旬の野菜、活用法、レシピ、新米の情報

(木村 葉)

- ・イベント企画にできるだけ参加したいです。情報を教えていただけると嬉しいです。

(太田 美代)

- ・JA職員・パートさん紹介などがあるとJAが身近に感じられるかと思います。JAで働く魅力や大変さも発信して欲しいです。

(林 佳世子)

回答（企画部）

貴重なご意見ありがとうございます。組合員の皆様の暮らしに役立つ情報や、地域農業へのご理解を深めていただく情報などを店頭ポスターやホームページだけでなく、LINEやインスタグラムで行っております。LINEなどのSNSの操作方法などにつきましては、無料のスマホ操作教室を開催している支店もございますので、普段ご利用いただいている最寄りの支店までお問い合わせをいただけますと幸いです。

Q23 当JAのユーチューブ動画について

もう少しインパクトのある情報が欲しいです。全体的に同じ映像を流すだけで単調な気がしました。

(木村 葉)

回答（企画部）

貴重なご意見ありがとうございます。映像の撮影・編集につきましては、主に広報担当職員が作成しておりますが、商業的な動画のレベルには達していないのが現状です。今後は企画力の向上に加え、発信する情報が視聴者のニーズに合っているか、情報の伝え方が分かりやすく楽しいものとなっているか、などに留意しながら、視聴者本位の動画作成に努めてまいります。

Q24 SNS登録者へのメリット拡大・利便性向上について

- ・SNSとJAのお店の連携を希望します。

(朝見 彰博)

- ・ガソリン・洗車はよく利用させてもらっています。その他のことは知らなかったです。JA-SSのLINEから別の事業のことを発信する予定はありますか？

(安江 隆)

- ・洗車半額の日（水曜日）は菜々耕房が休みなのでめったに行く機会がありません。

JA-SSと菜々耕房のお客が繋がるようにしてほしいです。

(安江 隆)

回答（企画部）

現在、SNS（当JA公式LINE）につきましては、産直施設のLINEクーポン配布および、タイムリーな入荷情報やイベント告知などをメインに発信しています。JA-SSの情報につきましては、月々送れるメッセージ数の上限が決まっていることから、産直施設やJAあいち海部の事業を優先して配信しています。今後は、ご要望いただいたJA支店やJA-SSとの連携なども検討してまいります。

回答（生活部）

・現在SSではLINEを利用し情報発信を行っておりますが、投稿件数に制限があるためSSについての情報を優先に配信しております。他事業の情報につきましてはトーク画面のメニュー欄「お得情報」に随時掲載してまいります。

・十四山SSの洗車半額デーにつきましてはおかげさまで大変多くのご利用を頂いております。安全にご利用いただくために専用の誘導ラインを設置しておりますが、多数の利用者が順番待ちで待機するため事故等の未然防止の観点から駐車場利用者の少ない水曜日（菜々耕房定休日）に設定しています。

金融・共済事業について

Q25 共済の相談先について

共済金の相談の仕方がわからない。

（近藤 美子）

回答（金融共済部）

十四山支店においては、土曜、祝日営業を実施させていただいております。本店においても毎月2回、第2土曜・第4土曜相談会などを開催しており、お客様の相談内容に応じた相談も可能です。最寄りの支店共済窓口・地域のライフアドバイザーなどお気軽にご相談いただきたいと思います。

Q26 支店窓口の混雑緩和について

窓口での待ち時間が長いので、改善できれば良いのですが・・・

（水野 浩子）

回答（金融共済部）

大変ご迷惑をお掛けしております。窓口においては、混雑時お客様に対して、お声掛けをさせていただいているところです。非対面のATMやネットバンクを推奨しており、なるべくお客様にご迷惑が掛からないよう事務効率化なども含め、これからもお客様が利用しやすい支店運営に努めてまいります。

Q27 JAバンクの安全性について

JAの金融は安全でしょうか？

（服部 豊美）

回答（金融共済部）

組合員・利用者にとって便利で、安心な金融機関としてご利用いただけるよう運営をしているところです。金融を取巻く環境は厳しさを増しておりますが、JAバンクは破綻防止システムに加え貯金保険制度によるセーフティーネットの構築により皆様に安心をお届けしております。

Q28 JAの訪問活動について

人件費のかかることですが、高齢化のため家庭訪問の機会を増やして地域密着に取り組んでほしいです。

（木村 葉）

回答（金融共済部）

ライフアドバイザーによる全国的な不祥事案が減少していないことを受け、集金業務の縮小などの見直しが進められております。そのような中ではありますが、多くのお宅を訪問することにより、お客様の声に答えてまいりたいと考えております。

なお、ライフアドバイザーは地域見守り隊として、行政と包括契約を結び地域貢献活動を実践しております。